



市場と時代分析における企業経営

令和7年9月12日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

市場分析と時代認識は、企業経営を正しく実現する基盤である。これら分析と認識を指標化、見える化し、正しい企業の構築を行うことは経営におけるもっとも要求される判断であり、その正しい認識の共有は、未来の実現を与える唯一の基盤である。

今日新たな変化と要求は、企業における未来への選択であり、新たな可能性である。これらは経営という現実における企業判断がその未来を決定することを意味するものである。

これら優れた企業経営は、最も優れた考査と考察を経て、現実を有することであり、進歩性という現実と主にその企業経営の実現を行うことは、可能性の実現を与えるものである。

これらは視点と基準の転換は、正しい市場と時代への認識における経営判断なのである。これが企業に未来を与える唯一の現実である。

ビジネスは最もシビアなものである。それが世界におけるスタンダードであり、甘えという土壌は存在しない。

これらが現実への参加を与える選択であり、企業経営という厳しさはそのためである。

変化を理解することは、その内実へ視点を新たに向けることにおいて、その原因や理由を理解し、それら理解がどのような経営の要求を得るのかを導き出し、正しい企業経営という現実を可能とできるのである。

独創性は、新たな未来の創造であるならば、これらは最も優れた理解において唯一可能とされるものである。

これらは企業経営がその生き残りという唯一の選択を求め、全ての企業が自己を行うことにおいて、時代という変化と同じスピードで企業経営の実現を行うことは、唯一現実に合格するものであり、それが未来という新たな変化への参加を与える正しい基盤であると考えられるものである。